

相模鉄道本線(星川駅～天王町駅)連続立体交差事業 いよいよ 11 月 24 日に高架化します

横浜市では、経済の活性化や地域の利便性向上、市民生活の安全・安心の確保に向け、鉄道の連続立体交差事業を推進しています。相模鉄道本線(星川駅～天王町駅)連続立体交差事業では、平成 14 年度の事業着手以降、16 年の歳月を経て、星川駅～天王町駅間の上下線全てが高架化され、このたび、**平成 30 年 11 月 24 日(土)始発**から運行を開始します。

1 事業概要

- 【事業名】** 相模鉄道本線(星川駅～天王町駅)連続立体交差事業
- 【事業期間】** 平成 14 年度～平成 33 年度
- 【施行主体】** 相模鉄道株式会社
- 【全体事業費】** 約 550 億円(国費：約 258 億円、市費：約 212 億円、相模鉄道負担：約 80 億円)
- 【事業区間】** 天王町駅付近～星川駅付近(保土ヶ谷区西久保町～星川三丁目)
- 【事業区間延長】** 約 1.9 km
- 【踏切除却数】** 9 箇所

}	うち 7 箇所は、立体交差(今回高架化で除却)
	1 箇所(星川 5 号踏切)は、廃止済み(平成 20 年度)
	1 箇所(星川 6 号踏切)は、周辺道路整備後に廃止予定(平成 31 年頃予定)

2 切替日程

平成 30 年 11 月 23 日(金・祝日)の最終電車から翌 24 日(土)の始発電車までの間に、地上部の上り線を高架上へ切り替えます。
なお、荒天の場合は、翌日の 11 月 24 日(土)～11 月 25 日(日)に変更します。



3 高架化による事業効果

今回上り線の高架化により、高架区間内の踏切が全て除却されます。これにより、**踏切による交通渋滞は解消され、踏切事故もゼロ**となります。また、踏切待ちが無くなることにより、**消防・救急活動が円滑**になります。そのほか、**線路を挟んだ行き来の活発化によるまちの活性化**や、**高架下**にできる新たな空間の有効活用による**賑わいの創出**など、大きな効果が期待できます。

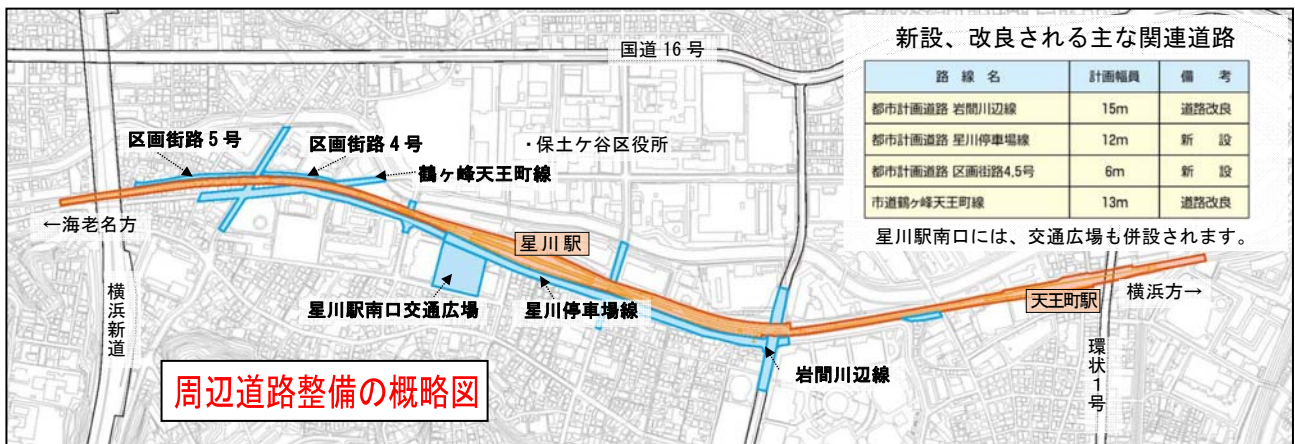
連続立体交差事業の事業効果

交通の円滑化 踏切がなくなり 踏切待ちがなくなります	安全性の向上 救急活動などが スムーズに行えます	地域の発展 鉄道で分断されていた 地域が一体化されます	利便性の向上 高架下の新たな空間 を有効活用します
---	---------------------------------------	--	--

4 今後の進め方

上り線の高架化後、星川駅、天王町駅の仕上げの工事や、星川駅南口の交通広場及び周辺道路の整備などを引き続き進め、平成33年度に一連の整備を完了する予定です。

高架下利用については、これまで地域の皆様と話し合った結果に基づき、駐輪場や歩道の設置をするとともに、相鉄グループが、商業施設など街の賑わいの向上につながる施設を検討しています。



<参考>星川2号踏切の移り変わり



5 その他

このたびの事業区間の高架化に伴い、地域の皆様をはじめとした関係者をお招きした式典を開催予定です。

- 【日時】平成30年11月17日（土）10時から
- 【場所】星川駅構内
- 【内容】テープカット、久寿玉割等
- 【列席予定者】議員関係者、地域代表の皆様など

※ 式典、高架化当日における取材対応については、それぞれの日程の1週間程度前までに下記問い合わせ先までご連絡をお願いします。

お問合せ先

道路局事業推進課鉄道交差調整担当課長 栗本 高史 電話 045-671-2757